

令和4年度

学生募集要項

(2次募集)

看護学研究科

博士課程（前期）

看護学専攻

研究者養成

実践者養成 広域看護学コース

博士課程（後期）

看護学専攻・健康科学専攻



公立大学法人

大分県立看護科学大学大学院

Oita University of Nursing and Health Sciences, Graduate School

目 次

○ 博士課程（前期）

I 入学者選抜要項

1	アドミッションポリシー	1
2	専攻名・専攻領域・募集人員	2
3	研究者養成と実践者養成	2
4	社会人の就学に関する特別措置	2
5	保健師の国家試験受験資格の取得	2
6	出願資格	3
	個別の出願資格認定	4
7	事前相談	5
8	出願手続	5
9	選抜方法	7
10	合格発表	9
11	個人成績の開示	9

II 入学手続、初年度納付金

1	入学手続	10
2	初年度納付金	11
3	特待生授業料減免及び奨学金	11

○ 博士課程（後期）

I 入学者選抜要項

1	アドミッションポリシー	12
2	専攻名・募集人員	12
3	出願資格	12
	個別の出願資格認定	13
4	社会人の就学に関する特別措置	13
5	事前相談	14
6	出願手続	14
7	選抜方法	16
8	合格発表	18
9	個人成績の開示	18

II 入学手続、初年度納付金

1	入学手続	19
2	初年度納付金	20

○ 各専攻の修了要件

I	看護学研究科看護学専攻 博士課程（前期）の修了要件	21
II	看護学研究科看護学専攻 博士課程（後期）の修了要件	24
III	看護学研究科健康科学専攻 博士課程（後期）の修了要件	25

（各専攻の概要については本学ホームページを参照してください。<https://www.oita-nhs.ac.jp/>）

○ その他

	試験会場略図	26
	交通アクセス	27

○ 出願書類等

博士課程（前期）

〈修士課程〉

○ 博士課程（前期）

I 入学者選抜要項

1 アドミッションポリシー：入学者の受け入れ方針

大分県立看護科学大学大学院アドミッションポリシー

本大学院では、より高度で専門的な看護学及びその周辺領域の科学を保健・医療・福祉の視野から捉え、追求することを通し、看護学ならびに周辺領域の教育者・研究者、及び高度な知識と広い見識をもって社会に貢献できる看護の専門職を育てることを目指す。このために、以下のような入学者を求め、コース別にアドミッション・ポリシーを定める。

1. 保健・医療・福祉を発展させる意欲をもった人
2. 保健・医療・福祉に関する知識と思考力をもった人
3. 論理的な表現力をもってコミュニケーションを行うことのできる人

1 研究者養成：アドミッションポリシー

看護学専攻のうち本コースでは、博士課程（後期）への進学を念頭に看護学の研究を行う研究者を育成することを目的とする。このために、次のような人材を求め、アドミッション・ポリシーを定める。

1. 看護学に対する探求心をもち、主体的・自律的に学ぶ力のある人
2. 看護学および関連領域の基礎学力を有し、特に研究論文を批判的に読み解く力、論理的に思考しデータを分析する力、研究の遂行と成果のまとめに必要なコミュニケーション能力と表現力を有する人
3. 将来、教育・研究を志望し、保健・医療・福祉分野を学術的に発展させる意欲のある人

2 実践者養成コース共通：アドミッションポリシー

実践者養成コースでは次のような人材を求め、コース別にアドミッション・ポリシーを定める。

1. 看護学の基盤を有し、優れたコミュニケーション能力、高度な専門的実践能力と問題解決能力を身に付けようとする意志と探求心をもち人
2. 幅広い視野をもち、社会に目を向け、保健医療福祉分野の発展・改革のための研究能力を身につけたい人

実践者養成 NPコース

NP（診療看護師）は、必要とされる診療行為を、医師や他の医療従事者と連携・協同し、効果的、効率的、タイムリーに実践できる能力を備えた看護師である。個々の患者の医療ニーズを包括的に正確に判断し、倫理的かつ科学的な根拠に基づき、必要とされる特定行為を的確に実施することができ、患者および患者家族のQOLの向上に寄与できる人材の育成を目標としている。NPコースでは、実践者養成コース共通のアドミッション・ポリシーに加え、次のような人材を求める。

1. 看護職としての高い資質と倫理観を持ち、病む人やその家族のQOL向上のための思考ができる人
2. 看護実践の科学的な根拠を探究し、自己研鑽しつづける意志と学習意欲をもつ人
3. 協調性と自律性をもち、チーム医療の中で看護実践できる人間関係能力をもつ人

実践者養成 広域看護学コース

保健師は地域社会の健康づくりのパートナーとして、人びとと協働して地域社会全体の健康課題を解決し、人びとのQOLを向上させていく活動を担う使命があり、科学的根拠に基づいて実践する能力が求められる。広域看護学コースでは、高度な判断力と実践力をもつ自律した保健師を育てることをめざして、実践者養成コース共通のアドミッション・ポリシーに加え、次のような人材を求める。

1. 人びとの生命と暮らしを守るため、地域をアセスメントし、課題を発見、改革に結び付けたい人
2. 保健領域における高度な知識や技術を身につけ、研究開発能力を身につけたい人

実践者養成 助産学コース

助産とは、女性と家族の主体性を重視した安全安楽な出産への援助を中心とした、人間の生涯を通じた性や生殖に関わる保健活動である。現在、周産期医療現場では、母子の生命を脅かす予期せぬ出来事や多重課題が山積しているため、本大学院では、高度な判断力と実践力をもつ自律した助産師を育てることをめざしている。そこで実践者養成コース共通のアドミッション・ポリシーに加え、次のような人材を求める。

1. 助産の専門的知識を基盤にした臨床推論能力と助産観を身につけようとする強い意志と自己学習能力をもつ人
2. 生命の誕生や存続への感性と倫理観をもち、予期せぬ場面にも柔軟な対応ができる人

実践者養成 看護管理・リカレントコース

臨床や地域で活動する看護職の学び直しと研究および看護管理の能力の育成を支援するコースであり、実践者養成コース共通のアドミッション・ポリシーに加え、次のような人材を求める。

1. 看護職としての学び直しや研究および看護管理能力の向上に意欲のある人
2. 学び直しの成果や、研究および看護管理の能力を通して、将来、高度医療専門職業人として、保健・医療・福祉分野への社会的発展に貢献する意欲のある人

2 専攻名・専攻領域・募集人員

研究科名	課程名	専攻名	専攻領域		募集人員
看護学研究科	博士課程(前期)	看護学専攻	研究者養成		若干名
			実践者養成	広域看護学コース	若干名

※ 看護学専攻(研究者養成)は、博士課程(前期)から博士課程(後期)への進学ができます。進学に際して、英語の基礎学力要件を満たし、修士論文の中間審査および口頭試問に合格しなければなりません。看護学専攻(実践者養成)は博士課程(前期)のみを対象とした課程ですので進学できません。博士課程(後期)への入学を希望する場合には博士課程(後期)の入学試験を受験する必要があります。

※ 看護学専攻(実践者養成)のうち、広域看護学コースについては、特別選抜試験による入学手続終了者を募集人員に含みます。

3 研究者養成と実践者養成

本大学院の看護学専攻は、研究者養成と実践者養成に分かれています。実践者養成は、NP (Nurse Practitioner: ナースプラクティショナー) コース、広域看護学コース、助産学コースおよび看護管理・リカレントコースに分かれています。それぞれの専攻領域にあった科目を選択して履修します。

4 社会人の就学に関する特別措置

広域看護学コースおよび助産学コースの専門科目(実習を含む)は昼間に開講されます。ただし、他のコース・専攻との共通科目は夜間に開講されます。

研究者養成、健康科学専攻の専門科目については、学生の希望に応じて昼夜いずれでも開講します。ただし、他のコース・専攻との共通科目は夜間に開講されます。

また、2年間の課程の授業料で最大4年間在学して単位が取得できる長期履修制度を設けており、看護師、保健師、助産師等の方が在職したままキャリアアップできるよう配慮しています。

さらに今後、同時双方向の遠隔授業を活用していく予定です。

詳しくは、次項の事前相談の際に、担当教員に相談してください。

5 保健師の国家試験受験資格の取得

本学大学院では、広域看護学コースにおいては保健師の国家試験受験資格を得ることができます。

6 出 願 資 格

次の①～⑩のいずれかの項目に該当する者としてします。

- ① 学校教育法第83条の大学を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び令和4年3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年3月修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年3月修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有する者の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する者の当該課程を修了した者及び令和4年3月修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が三年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、上記⑤の文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和4年3月までに授与される見込みの者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和4年3月修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑩ 本大学院が行う個別の出願資格認定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和4年4月1日時点で満22歳以上の者

実践者養成コースでは上記①～⑩に加えて、各専攻領域で定めた下記要件を満たす必要があります。

実践者養成	広域看護学コース	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師の免許を有する者（免許取得見込みの者を含む） ※受験後に看護師免許取得見込みで、看護師国家試験に不合格となった場合、大学院入学後に看護師国家試験に合格しなければ2年次に進級できません。
-------	----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

個別の出願資格認定

(出願資格⑦以外の専修学校等の修了(卒業)者)

出願資格⑩により出願を希望する者については、出願前に個別の出願資格認定を行いますので、次により申請してください。

(1) 出願資格認定条件

出願資格⑩による個別の出願資格認定条件を満たす者は、短期大学、専修学校、各種学校等の卒業(修了)者で、次のすべての項目に該当するものとします。

- ① 厚生労働大臣が行う医療関係職種の国家試験に合格し、免許を取得した者
- ② 上記①の資格で、令和3年4月1日現在、通算3年以上の実務経験がある者、又は令和4年3月末までに通算3年以上の実務経験が見込まれる者

(2) 申請手続

次の提出書類を取り揃え、**令和3年11月5日(金)～11月12日(金)までに5ページ8の(3)出願先まで「書留速達郵便」(「直接持参」は受け付けません)**により申請してください。

(11月12日(金)消印有効)

なお、一度受付をした申請書類等は、返却しません。

書 類		作 成 方 法
G票	出 願 資 格 認 定 申 請 書	本大学院所定の様式に必要事項を記入のうえ提出してください。
H票	在 籍 期 間 証 明 書	医療関係職種の資格で通算3年以上の実務経験期間について、本大学院所定の様式に所属施設(機関)の長又は代表者が証明したものを提出してください。
	成 績 証 明 書	最終学校長が作成し、厳封したものを提出してください。(短期大学及び高等専門学校に置かれた専攻科の修了者は、専攻科の成績証明書も提出してください。)
	卒 業 、 修 了 (見 込) 証 明 書	最終学校の卒業又は修了(見込)証明書を提出してください。
	免 許 証 の 写 し	医療関係職種の免許証の写しを提出してください(A4サイズに縮小のこと)。
N票	認定結果通知用封筒(ラベル)	長3封筒に封筒ラベルを全面貼付の上、返送先の住所、氏名、郵便番号を記載し、344円切手を貼付してください。
	申 請 用 封 筒 (ラ ベ ル)	角2封筒に封筒ラベルを全面貼付の上、住所、氏名等必要事項を記入し、「書留速達郵便」(「直接持参」は受け付けません)により提出してください。

※ 改姓により、現在の氏名と卒業証明書等の氏名が相違する場合は、**戸籍抄本**を提出してください。

(3) 審 査

提出された書類等により審査します。審査の結果は、**11月19日(金)**までに本人に文書で通知します。同日までに届かない場合は、5ページ8の(3)出願先まで問い合わせてください。

7 事前相談

出願にあたっては、事前に希望する専攻又は専攻領域の問合わせ担当教員に相談（メール又は電話）してください。**事前相談をせずに出願することはできません。**

(1) 相談期間

令和3年11月5日（金）から11月12日（金）まで

（電話の場合は、土曜日、日曜日及び祝日を除く午前9時～午後5時まで）

(2) 専攻領域別問合わせ担当教員及び相談先

専攻名又は専攻領域	問合わせ担当教員名	連絡先
研究者養成	かげ やま たか ゆき 影 山 隆 之	e-mail:kageyama@oita-nhs.ac.jp 電話：097-586-4416（直通）
広域看護学コース	あか ほし こと み 赤 星 琴 美	e-mail:akahoshi@oita-nhs.ac.jp 電話：097-586-4456（直通）

電話は講義などで離席していることもありますので、まずはできるだけE-mailでお問い合わせください。

なお、問合わせ担当教員に連絡がとれない場合は、5ページ8の（3）出願先に連絡してください。

8 出願手続

(1) 出願期間

令和3年11月22日（月）～11月29日（月）

出願期間を過ぎて到着した場合には、11月29日（月）までの発信郵便局の消印のあるものに限り受け付けます。

(2) 出願方法

志願者は、下記の（4）出願書類とチェックリストを一括して、角2封筒に入れ願書送付用の宛名ラベルを封筒からはがれないようしっかり貼付したうえで「書留速達郵便」（「直接持参」は受け付けません）により出願してください。

(3) 出願先

〒870-1201

大分県大分市廻^{めぐす}野2944-9

大分県立看護科学大学 教務学生グループ

TEL 097-586-4303（教務学生グループ直通）

(4) 出願書類

書 類		作 成 方 法
A票	志願票（原票）	記入上の注意を参照のうえ、必要事項を漏れなく記入してください。領収書、振込依頼書を切り離さずに金融機関にお持ちください。
	入学検査料 （振込依頼書）	出願期間中に 30,000円 分の入学検査料を「電信扱い」ができる金融機関（銀行等）にてお支払いください。ゆうちょ銀行のご利用やATMでの振込はできません。必ず窓口にて振込み、志願票の金融機関の収納印を確認してください（収納印が無いものは無効です）。領収書は大切に保管し、出願書類に同封しないでください。
B票	履 歴 書	中学卒業後の学歴、職歴を漏れなく記入してください。
C票	写 真 票	必要事項を漏れなく記入してください。 写真（縦4cm×横3cm、上半身正面、無帽、無背景で、出願前3か月以内に撮影したもの。白黒可）の裏面に氏名、生年月日を記入のうえ、写真貼付欄にはがれないよう全面のり付け貼付してください。
D票	受 験 票	なお、受験時に眼鏡をかける人は、必ず眼鏡をかけて撮影してください。
E票	志 望 理 由 書	本大学院所定の様式に必要事項を記入のうえ提出してください。
F票	連絡用宛名票	合格通知書等送付先の住所、氏名、郵便番号を明記してください。
O票	受験票返送用封筒（ラベル）	長3封筒に封筒ラベルを全面貼付の上、受験票返送先の住所、氏名、郵便番号を明記し、344円分の切手を貼付してください。
	成 績 証 明 書	《出願資格⑩は不要》 出願資格を満たす大学等の成績証明書（厳封したもの）を提出してください。大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された場合は、高等学校卒業以降の全成績（単位修得証明書）を提出してください。
	卒 業、修 了 （ 見 込 ） 証 明 書	《出願資格⑩は不要》 出願資格を満たす大学等の卒業、修了（見込）証明書を提出してください。大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された人は、学士の学位証明書を提出してください。
	出願用封筒（ラベル）	角2封筒に封筒ラベルを全面貼付の上、住所、氏名等必要事項を記入し、「書留速達郵便」（「直接持参」は受け付けません）により提出してください。

※ 改姓により、現在の氏名と卒業証明書等の氏名が相違する場合は、**戸籍抄本**を提出してください。

A票～O票の各書類及び出願用封筒ラベルは、本要項巻末に添付しています。

(5) 出願手続上の注意事項

- ① 出願書類が全てそろっていない場合には受け付けできませんので、**出願の際には出願用書類チェックリストにより十分確認**してください。また、一度受付をした出願書類及び入学検査料は返却しません。
- ② 出願書類受理後は、出願事項の変更は認められません。ただし、出願後に住所、氏名及び電話番号の変更があった場合は、5ページ8の（3）出願先まで連絡してください。
- ③ 入学を許可した後であっても、出願書類の記載内容が事実と相違することが発見された場合、入学の許可を取り消すことがあります。
- ④ **試験期日の5日前までに受験票が届かない場合は、5ページ8の（3）出願先まで問い合わせ**てください。

(6) 障がいがある等、受験上の配慮及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者の事前協議

本大学院に入学を志願する者で、障がいがある等、受験上の配慮及び修学上の配慮を必要とする可能性のある者は、**令和3年11月12日（金）まで**に5ページ8の（3）出願先まで連絡し、相談してください。

なお、出願受付締切後に発生した傷病により特別な配慮を必要とすることとなった場合も速やかに連絡してください。

9 選 抜 方 法

(1) 入学者選抜方法

学力試験・面接の結果が一定の基準に達した者の中から、学力試験・面接の結果及び成績証明書等を総合的に評価して選抜します。

(2) 試験期日・試験会場（26～27ページの略図参照）

試 験 期 日	試 験 会 場
令和3年12月11日（土）	大分県立看護科学大学 (大分県大分市廻 ^{めぐす} 野2944-9)

試験会場の事前確認は、**12月10日（金）**の午後1時から午後3時までに限られます。なお、建物内には入れません。

(3) 試験科目・時間割

① 研究者養成

時 間	試験科目	備 考
10:00～12:00	総合問題	医療・保健・福祉等に関する知識及び論理的思考力と表現力を総合的に評価できる問題を出題します。 なお、英語辞書（1冊）の持ち込み（ただし、電子辞書類を除く）を認めます。
13:00～	面 接	個人面接を行います。（1人あたり約15分）

② 実践者養成（広域看護学コース）

時 間	試験科目	備 考
10：00～12：00	総合問題	医療・保健・福祉等に関する知識及び論理的思考力と表現力を総合的に評価できる問題を出題します。 なお、英語辞書（1冊）の持ち込み（ただし、電子辞書類を除く）を認めます。
13：00～	面 接	個人面接を行います。（1人あたり約15分）

受験者は午前9時15分から9時45分までの間に、指定された試験室に入室してください。

（4）試験の配点

区分・試験科目	総合問題	面 接	合 計
看 護 学 専 攻	100点	50点 ^{*1)}	150点

* 1) 得点が配点の50%以下の場合は、総合点にかかわらず不合格となります。

（5）受験上の注意事項

- ① 午前9時45分から試験に関する諸注意を行います。**午前9時15分から9時45分までの間に試験室に入室してください。**
- ② 受験者本人以外は、試験室には入れません。保護者等の方には、食堂を控室として開放します。
- ③ 「総合問題」試験開始時刻後、**20分以内の遅刻に限り受験を認めます**が、試験時間の延長は認めません。
- ④ 定められた試験科目を1科目でも受験しない者は、入学者選抜の対象から除きます。
- ⑤ 「**受験票**」、「**黒鉛筆（シャープペンシル可）**」、「**消しゴム**」及び「**マスク**」は、**試験当日必ず持参**してください。
- ⑥ 「総合問題」試験時間中、机の上に置けるものは、「**受験票**」、「**黒鉛筆（シャープペンシル可）**」及び「**消しゴム**」のほかに「**鉛筆削り**」、「**時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。）**」、「**眼鏡**」だけです。なお、格言等が印刷されている鉛筆等は使用できません。ただし、研究者養成及び実践者養成（広域看護学コース、助産学コース）、健康科学専攻の受験者は「総合問題」の試験時間中、上記のほかに英語辞書1冊（電子辞書類を除く）を認めます。
- ⑦ 試験時間内における受験者間の物品の貸借は一切認めません。
- ⑧ 当日、受験票を忘れた者は、速やかに試験本部で仮受験票の交付を受けてください。また、**受験票は入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管**してください。
- ⑨ 当日、食堂は営業していませんので、昼食等は各自持参してください。
- ⑩ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末は、試験室に入る前に電源を切っておいてください。また、これらは時計として使用できません。
- ⑪ 試験会場では、監督員等の指示に従ってください。

10 合格発表

(1) 発表期日

令和3年12月23日(木) 午後1時

(2) 発表方法

大分県立看護科学大学(27ページの略図参照)の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者に合格通知書を送付します。

なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

(3) インターネットによる合格者受験番号発表

インターネットにより合格者受験番号の発表を行います。アドレスは次のとおりです。

インターネット <https://www.oita-nhs.ac.jp/>

11 個人成績の開示

選抜試験の成績を本人から請求があった場合に開示します。

- (1) 請求できる者 受験者本人(受験票を持参の上、本学教務学生グループ窓口で請求する)
- (2) 開示の内容 試験の得点及び順位(ただし、順位は面接で一定基準に達した者のみ)
- (3) 開示期間 合格発表日の翌日から3ヶ月間
(土曜日、日曜日及び祝日を除く午前9時から午後5時まで)
- (4) 開示方法 口頭で行う。
- (5) その他
 - ・郵便、電話等による開示は行いません。
 - ・入学手続後に開示請求する場合は、本人確認ができる顔写真付きの身分証明書(免許証、学生証等)を提示してください。

II 入学手続、初年度納付金

1 入学手続

(1) 入学手続期間

令和3年12月24日（金）～令和4年1月7日（金）（「直接持参」は受け付けません）

入学手続は郵送のみとし、最終日の発信郵便局の消印有効です。

(2) 入学手続方法

- ① 入学手続の詳細については、合格通知書送付時にお知らせします。
- ② 入学手続には、合格通知書とともに送付する書類のほか、**受験票(D票)**、**写真（縦4cm×横3cm）1枚**が必要です。
- ③ 「入学料」及び上記②の入学手続に必要な書類等を取りそろえて、手続期間内に入学手続を完了してください。

(3) 入学手続書類送付先

〒870-1201 大分県大分市廻栖野^{めぐすの}2944-9
大分県立看護科学大学 教務学生グループ
TEL 097-586-4303（教務学生グループ直通）
（26ページの略図参照）

(4) 入学手続上の注意事項

- ① 上記（1）の**入学手続期間内に入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したのものとして取り扱います。**消印有効を除き期間を過ぎて到着したものは受付できませんので、所要日数を十分考慮して準備・発送してください。
- ② 入学料及び必要な書類が全てそろっていない場合には受付できませんので、書類提出の際に、十分確認してください。
- ③ 一度受付をした入学料及び入学手続書類は返却しません。

2 初年度納付金

(1) 入学料等

入学手続の際に、下表の入学料を納付することになります。

(令和3年度実績)

区 分	金 額	備 考
入 学 料	332,000円 ただし大分県内者は、 232,000円	「大分県内者」とは、次のいずれかに該当する者をいいます。 ア 入学しようとする年の前年の4月1日から入学が許可される日まで引き続き大分県内に住所を有する者 イ 入学しようとする年の前年の4月1日から入学が許可される日まで引き続き大分県内に住所を有する者の 被扶養者 である者
授 業 料	年 額 535,800円	年2回納付 前期納付期限 5月末日 267,900円 後期納付期限 10月末日 267,900円

※ 上記納付金額は予定額であり、入学時又は在学時に納付金額の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額（授業料）が適用されます。

※ 1年次のみ前期納付期限が5月末、以後の前期納付期限は4月末となります。

※ 長期履修制度を設けています。

長期履修制度：2年間の課程の授業料で最大4年間在学して単位が取得できる制度

(2) その他の経費（令和3年度実績）

入学時には、学生教育研究災害傷害保険料、記念撮影・学生証用写真代金、テキスト購入費などが別途必要になりますが、詳細については合格通知書送付時にお知らせします。

3 特待生授業料免除

1 特待生授業料免除（令和3年度実績）

(1) 博士課程（前期）の全入学生のうち、6名以内に対して2年次後期の授業料を免除します。

(2) 免除の対象者は、1年次の成績などを総合的に判断して選考されます。

博士課程（後期）

〈博士課程〉

○ 博士課程（後期）

I 入学者選抜要項

1 アドミッションポリシー：入学者の受け入れ方針

博士課程（後期）：アドミッションポリシー

看護学専攻あるいは健康科学専攻において、看護学あるいは健康科学の探究を目指す、以下のような入学者を求め、アドミッションポリシーを定める。

1. 看護学あるいは健康科学を探究するために必要な基礎学力および研究力を有する人材
2. 高い問題意識を持ち、研究テーマを自ら探究し設定する力を有する人材
3. 看護学あるいは健康科学の発展に貢献できる人材

2 専攻名・募集人員

研究科名	課程名	専攻名	募集人員
看護学研究科	博士課程（後期）	看護学専攻	若干名
		健康科学専攻	若干名

3 出願資格

次の①～⑥のいずれかの項目に該当する者とします。

- ① 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和4年3月までに取得見込みの者
- ② 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和4年3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和4年3月までに授与される見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和4年3月までに授与される見込みの者
- ⑤ 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）
 - ア 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - イ 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- ⑥ 本大学院が行う個別の出願資格認定により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和4年4月1日時点で24歳以上の者

個別の出願資格認定

出願資格⑤、⑥により出願を希望する者については、出願前に個別の出願資格認定を行います。次により申請してください。

(1) 出願資格認定条件

- ・業績 原著2件以上（査読のある学術雑誌へ筆頭者として掲載されたもの）

(2) 申請手続

次の提出書類を取り揃え、**令和3年11月5日（金）～11月12日（金）**までに14ページ6の（3）出願先まで「書留速達郵便」（「直接持参」は受け付けません）により申請してください。

（11月12日（金）消印有効）

なお、一度受付をした申請書類等は、返却しません。

申請書類

書 類		作 成 方 法
G票	出 願 資 格 認 定 申 請 書	本大学院所定の様式に必要事項を記入のうえ提出してください。
L票	論 文 等 要 旨	上記業績一覧の中から主なものを2つ選定し、その論文の要旨を本大学院所定の様式に記入のうえ提出してください。 なお、論文の写しも提出してください。
M票	業 績 一 覧	本大学院所定の様式に必要事項を記入のうえ提出してください。
E票	志 望 理 由 書	本大学院所定の様式に必要事項を記入のうえ提出してください。
	成 績 証 明 書	出願資格を満たす大学等の成績証明書（厳封したもの）。
	卒 業、修 了（見 込）証 明 書	出願資格を満たす大学等の卒業、修了（見込）証明書。
N票	認 定 結 果 通 知 用 封 筒（ラベル）	長3封筒に封筒ラベルを全面貼付の上、返送先の住所、氏名、郵便番号を記載し、344円切手を貼付してください。
	認 定 申 請 用 封 筒（ラベル）	住所、氏名等必要事項を記入し、角2封筒に封筒ラベルを全面貼付の上、「書留速達郵便」（「直接持参」は受け付けません）により提出してください。

※ 改姓により、現在の氏名と卒業証明書等の氏名が相違する場合は、**戸籍抄本**を提出してください。

(3) 審 査

提出された書類等により審査します。審査の結果は、**11月19日（金）**までに本人に文書で通知します。同日までに届かない場合は、14ページ6の（3）出願先まで問い合わせてください。

4 社会人の就学に関する特別措置

社会人が働きながら就学できるよう、昼間だけでなく夜間も授業や研究指導を行うことができます。

また、3年間の課程の授業料で最大6年間在学して単位が取得できる長期履修制度を設けており、看護師、保健師、助産師等の方が在職したままキャリアアップできるよう配慮しています。

詳しくは、次項の事前相談の際に、担当教員に相談してください。

5 事前相談

出願にあたっては、事前に希望する専攻領域、研究内容などを問合わせ担当教員に相談（メール又は電話）してください。**事前相談をせずに出願することはできません。**

(1) 事前相談期間

令和3年11月5日（金）から11月12日（金）まで

（電話の場合は、土曜日、日曜日及び祝日を除く午前9時～午後5時まで）

(2) 問合わせ担当教員及び連絡先（問合わせ担当教員に連絡がとれない場合は、下記6の（3）の出願先に連絡してください。

専攻名	問合わせ担当教員名及び連絡先
看護学専攻	かげやま たかゆき 影山 隆之 e-mail:kageyama@oita-nhs.ac.jp 電話：097-586-4416（直通）
健康科学専攻	いながき あつし 稲垣 敦 e-mail:inagaki@oita-nhs.ac.jp

6 出願手続

(1) 出願期間

令和3年11月22日（月）～11月29日（月）

出願期間を過ぎて到着した場合には、11月29日（月）までの発信郵便局の消印のあるものに限り受け付けます。

(2) 出願方法

志願者は、15ページの（4）出願書類とチェックリストを一括して、角2封筒に入れ願書送付用の宛名ラベルを封筒からはがれないようしっかり貼付したうえで「書留速達郵便」（「直接持参」は受け付けません）により出願してください。

(3) 出願先

〒870-1201

大分県大分市廻栖野^{めぐすの}2944-9

大分県立看護科学大学 教務学生グループ

TEL 097-586-4303（教務学生グループ直通）

(4) 出願書類

書 類		作 成 方 法
A票	志願票（原票）	記入上の注意を参照のうえ、必要事項を漏れなく記入してください。領収書、振込依頼書を切り離さずに金融機関にお持ちください。
	入 学 考 査 料	出願期間中に 30,000円 分の入学考査料を「電信扱い」ができる金融機関（銀行等）にてお支払いください。ゆうちょ銀行のご利用やATMでの振込はできません。必ず窓口にて振込み、志願票の金融機関の収納印を確認してください(収納印が無いものは無効です)。領収書は大切に保管し、出願書類に同封しないでください。
B票	履 歴 書	高等学校卒業後の学歴、職歴を漏れなく記入してください。
C票	写 真 票	必要事項を漏れなく記入してください。 写真（縦4cm×横3cm、上半身正面、無帽、無背景で、出願前3か月以内に撮影したもの。白黒可）の裏面に氏名、生年月日を記入のうえ、写真貼付欄にはがれないよう全面のり付け貼付してください。
D票	受 験 票	なお、受験時に眼鏡をかける者は、必ず眼鏡をかけて撮影してください。
E票	志 望 理 由 書	《出願資格⑤⑥は不要》 本大学院所定の様式に記入のうえ提出してください。
F票	連絡用宛名票	合格通知書等送付先の住所、氏名、郵便番号を明記してください。
L票	論 文 等 要 旨	《出願資格⑤⑥は不要》 ア 修士の学位を有する者は、修士論文の写し及び修士論文の要旨を本大学院所定の様式（A4用紙1枚程度）に記入のうえ提出してください。 イ 修士課程修了見込みの者は、研究経過の要旨を本大学院所定の様式（A4用紙1枚程度）に記入のうえ提出してください。 なお、研究発表等の資料があれば添付してください。
M票	業 績 一 覧	《出願資格⑤⑥は不要》 本大学院所定の様式に論文及び学会発表などの業績を記入のうえ提出してください。
O票	受験票返送用封筒（ラベル）	長3封筒に封筒ラベルを全面貼付の上、受験票返送先の住所、氏名、郵便番号を明記し、344円分の切手を貼付してください。
	成 績 証 明 書	《出願資格⑤⑥は不要》 出願資格を満たす大学等の成績証明書（厳封したもの）。
	卒 業 、 修 了 （ 見 込 ） 証 明 書	《出願資格⑤⑥は不要》 出願資格を満たす大学等の卒業、修了（見込）証明書。
	出願用封筒(ラベル)	住所、氏名等必要事項を記入し、角2封筒に封筒ラベルを全面貼付の上、「書留速達郵便」（「直接持参」は受け付けません）により提出してください。

※ 改姓により、現在の氏名と卒業証明書等の氏名が相違する場合は、**戸籍抄本**を提出してください。

A票～O票の各書類及び封筒ラベルは、本要項巻末に添付しています。

(5) 出願手続上の注意事項

- ① 出願書類が全てそろっていない場合には受付できませんので、**出願の際には出願用書類チェックリストにより十分確認**してください。また、一度受付をした出願書類及び入学考査料は返却しません。
- ② 出願書類受理後は、出願事項の変更は認められません。ただし、出願後に住所、氏名及び電話番号の変更があった場合は、14ページ6の(3)出願先まで連絡してください。
- ③ 出願を希望する者は、別に示す専攻領域の中から志望する領域を選んでください。(専攻領域の概要については本学ホームページを参照してください。)
- ④ 入学を許可した後であっても、出願書類の記載内容が事実と相違することが発見された場合、入学の許可を取り消すことがあります。
- ⑤ **試験期日の5日前までに受験票が届かない場合は**、14ページ6の(3)出願先まで**問い合わせ**てください。

(6) 障がいがある等、受験上の配慮及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者の事前協議

本大学院に入学を志願する者で、障がいがある等、受験上の配慮及び修学上の配慮を必要とする可能性のある者は、**令和3年11月12日(金)まで**に14ページ6の(3)出願先まで連絡し、相談してください。

なお、出願受付締切後に発生した傷病により特別な配慮を必要とすることとなった場合も速やかに連絡してください。

7 選 抜 方 法

(1) 入学者選抜方法

学力試験・口頭試問の結果が一定の基準に達した者の中から、学力試験・口頭試問の結果及び出願書類を総合的に評価して選抜します。

(2) 試験期日・試験会場(26～27ページの略図参照)

試 験 期 日	試 験 会 場
令和3年12月11日(土)	大分県立看護科学大学 (大分県大分市廻栖野 ^{めぐすの} 2944-9)

事前の試験会場の下見は、**12月10日(金)**の午後1時から3時までとします。なお、建物内には入れません。

(3) 試験科目・時間割

時 間	試験科目	備 考
10:00~12:00	総合問題	医療・保健・福祉に関する知識及び論理的思考力と表現力を総合的に評価できる問題を出題します。 なお、英語辞書(1冊)の持ち込み(ただし電子辞書類を除く)を認めます。
13:00~	口頭試問	これまでの研究内容(修士論文を含む)と今後の研究の展望を15分間口頭発表*1)します。その後、発表内容や志望理由などに対する質疑応答が15分間程度行われます。

* 1) 口頭発表はパワーポイントを用いて行います。当日はパワーポイントファイルをUSBメモリに保存して持参してください。また、ファイルをプリントした資料4部(A4用紙1頁あたりスライド1件)を持参してください。発表にはWindowsPCを使います。

受験者は午前9時15分から9時45分までの間に、指定された試験室に入室してください。

(4) 学力試験の配点

試験科目	総合問題	口頭試問	合 計
配点	100点	100点*1)	200点

* 1) 得点が配点の50%以下の場合は、総合点にかかわらず不合格となります。

(5) 受験上の注意事項

- ① 午前9時45分から試験に関する諸注意を行います。午前9時15分から9時45分までの間に試験室に入室してください。
- ② 受験者本人以外は、試験室には入れません。保護者等の方には、食堂を控室として開放します。
- ③ 「総合問題」試験開始時刻後、20分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は認めません。
- ④ 定められた試験科目を1科目でも受験しない者は、入学者選抜の対象から除きます。
- ⑤ 「受験票」、「黒鉛筆(シャープペンシル可)」、「消しゴム」及び「マスク」は、試験当日必ず持参してください。
- ⑥ 「総合問題」学科試験時間中、机の上に置けるものは、「受験票」、「黒鉛筆(シャープペンシル可)」及び「消しゴム」のほかに「鉛筆削り」、「時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。）」、「眼鏡」だけです。なお、格言等が印刷されている鉛筆等は使用できません。ただし、「総合問題」の試験時間中は、上記のほかに英語辞書1冊(電子辞書類を除く)を認めます。
- ⑦ 試験時間内における受験者間の物品の貸借は一切認めません。
- ⑧ 当日、受験票を忘れた者は、速やかに試験本部で仮受験票の交付を受けてください。また、受験票は入学手続きの際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- ⑨ 当日、食堂は営業していませんので、昼食等は各自持参してください。
- ⑩ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末は、試験室に入る前に電源を切っておいてください。また、これらは時計として使用できません。
- ⑪ 試験会場では、監督員等の指示に従ってください。

8 合格発表

(1) 発表期日

令和3年12月23日(木) 午後1時

(2) 発表方法

大分県立看護科学大学(27ページの略図参照)の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者に合格通知書を送付します。

なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

(3) インターネットによる合格者受験番号発表

インターネットにより合格者受験番号の発表を行います。アドレスは次のとおりです。

インターネット <https://www.oita-nhs.ac.jp/>

9 個人成績の開示

選抜試験の成績を本人から請求があった場合に開示します。

- (1) 請求できる者 受験者本人(受験票を持参のうえ、本学教務学生グループ窓口で請求する。)
- (2) 開示の内容 総合得点及び順位(ただし、順位は面接で一定基準に達した者のみ)
- (3) 開示期間 合格発表日の翌日から3ヶ月間
(土曜日、日曜日及び祝日を除く午前9時から午後5時まで)
- (4) 開示方法 口頭で行う。
- (5) その他
 - ・郵便、電話等による開示は行いません。
 - ・入学手続後に開示請求する場合は、本人確認ができる顔写真付きの身分証明書(免許証、学生証等)を提示してください。

Ⅱ 入学手続、初年度納付金

1 入学手続

(1) 入学手続期間

令和3年12月24日（金）～令和4年1月7日（金）（「直接持参」は受け付けません）

入学手続は郵送のみとし、最終日の発信郵便局の消印有効です。

(2) 入学手続方法

- ① 入学手続の詳細については、合格通知書送付時にお知らせします。
- ② 入学手続には、合格通知書とともに送付する書類のほか、**受験票(D票)**、**写真（縦4cm×横3cm）1枚**が必要です。
- ③ 「入学料」及び上記②の入学手続に必要な書類等を取りそろえて、手続期間内に入学手続を完了してください。

(3) 入学手続場所

〒870-1201 大分県大分市廻栖野^{めぐすの}2944-9
大分県立看護科学大学 教務学生グループ
TEL 097-586-4303（教務学生グループ直通）
（26ページの略図参照）

(4) 入学手続上の注意事項

- ① 上記(1)の**入学手続期間内に入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものと取り扱います**。消印有効を除き期間を過ぎて到着したものは受付できませんので、所要日数を十分考慮して発送してください。
- ② 入学料及び必要な書類が全てそろっていない場合には受付できませんので、書類提出の際に、十分確認してください。
- ③ 一度受付をした入学料及び入学手続書類は返却しません。

2

初年度納付金

(1) 入学料等

入学手続きの際に、下表の入学料を納付することになります。

(令和3年度実績)

区 分	金 額	備 考
入 学 料	332,000円 ただし大分県内者は、 232,000円	「大分県内者」とは、次のいずれかに該当する者をいいます。 ア 入学しようとする年の前年の4月1日から入学が許可される日まで引き続き大分県内に住所を有する者 イ 入学しようとする年の前年の4月1日から入学が許可される日まで引き続き大分県内に住所を有する者の 被扶養者 である者
授 業 料	年 額 535,800円	年2回納付 前期納付期限 5月末日 267,900円 後期納付期限 10月末日 267,900円

※ 上記納付金額は、予定額であり、入学時又は在学時に納付金額の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額（授業料）が適用されます。

※ 1年次のみ前期納付期限が5月末、以後の前期納付期限は4月末となります。

(2) その他の経費（令和3年度実績）

入学時には、学生教育研究災害傷害保険料、記念撮影・学生証用写真代金、テキスト購入費などが別途必要になりますが、詳細については合格通知書送付時にお知らせします。

○ 各専攻の修了要件 (令和3年度)

I 看護学研究科看護学専攻 博士課程 (前期) の修了要件

1. 研究者養成

科目	授業科目	配当年次	単位数	修了要件	
専 門 科 目	基盤看護学	看護アセスメント学特論	1	2	特論科目 4 単位以上 演習科目 4 単位以上
		精神保健学特論	1	2	
		基盤看護学演習	2	4	
	発達看護学	小児看護学特論	1	2	
		成人看護学特論	1	2	
		老年看護学特論	1	2	
		生殖看護学特論	1	2	
		発達看護学演習	2	4	
	広域看護学	地域看護学特論	1	2	
		国際看護学特論	1	2	
		放射線保健学特論	1	2	
		広域看護学演習	2	4	
	共 通 科 目	生体科学特論	1・2	2	
病理学特論		1・2	2		
病態生理学特論		1・2	2		
健康増進科学特論		1・2	2		
人間関係学特論		1・2	2		
看護管理学特論		1・2	2		
看護理論特論		1・2	2		
看護教育学特論		1・2	2		
看護コンサルテーション論		1・2	2		
看護倫理学特論		1・2	2		
看護政策論		1・2	2		
健康社会学特論		1・2	2		
看護科学研究特論		1	2	必修	
保健情報学特論		1・2	2	必修	
英語論文作成概論	2	1	必修		
Intensive English Study	1	1	必修		
特 別 研 究	原書講読演習	1・2	2	14単位 (必修)	
	特別研究	1～2	12		
計				30単位以上	

2-1. 広域看護学コース

科目	授業科目	配当年次	単位数	修了要件
専 門 科 目	広域看護学概論	1	2	48単位（必修）
	地域保健特論	1	2	
	産業保健特論	1	1	
	学校保健特論	2	1	
	健康危機管理論	1	2	
	健康増進技術演習	1	2	
	広域看護アセスメント学演習	1	2	
	精神保健学特論	1	2	
	健康教育特論	1	2	
	健康リスクアセスメント演習	1	2	
	疫学特論	1	2	
	保健統計学	1	2	
	疫学・保健統計学演習	1	2	
	社会保障システム特論	1	3	
	保健医療福祉政策論	1	1	
	疾病予防学特論	1	2	
	実践薬理学特論	1	1	
	薬剤マネジメント学特論	1～2	1	
	環境保健学特論	1	2	
	地域生活支援実習	1	2	
地域マネジメント実習	1	3		
広域看護活動研究実習	1～2	9		
共 通 科 目	看護コンサルテーション論	1・2	2	必修 6単位以上（必修含む）
	人間関係学特論	1・2	2	
	看護科学研究特論	1	2	
	看護教育学特論	1・2	2	
	看護理論特論	1・2	2	
	看護管理学特論	1・2	2	
	看護倫理学特論	1・2	2	
	健康社会科学特論	1・2	2	
	英語論文作成概論	2	1	
	Intensive English Study	1	1	
特別研究	原書講読演習	1	2	5単位（必修）
	課題研究	1・2	3	
計				59単位以上

2-2. 令和4年度 広域看護学コース教育課程の修了要件

※広域看護学コースは次年度より下記表の通りカリキュラムを変更します。

科目	授業科目	配当 年次	単位数		備考
			必修	選択	
専 門 科 目	広域看護学概論Ⅰ	1	2		48単位（必須）
	広域看護学概論Ⅱ	1	1		
	広域看護展開特論	1	2		
	広域看護管理特論	1	2		
	産業保健特論	1	1		
	学校保健特論	2	1		
	健康危機管理特論	1	2		
	健康増進技術演習	1	2		
	広域看護アセスメント学演習	1	2		
	健康教育特論	1	2		
	健康リスクアセスメント演習	1	2		
	疫学特論	1	2		
	保健統計学	1	2		
	疫学・保健統計学演習	1	2		
	保健医療福祉行政特論	1	2		
	疾病予防学特論	1	2		
	実践薬理学特論	1	1		
	薬剤マネジメント学特論	1	1		
	環境保健学特論	1	2		
	地域生活支援実習	1	2		
	健康教育演習	1	1		
	広域看護学実践演習Ⅰ	1	1		
	広域看護学実践演習Ⅱ	1	1		
	広域看護学実践演習Ⅲ	1	1		
	地域マネジメント実習Ⅰ	1	1		
	地域マネジメント実習Ⅱ	1	3		
	広域看護活動展開実習Ⅰ	1	3		
	広域看護活動展開実習Ⅱ	2	1		
広域看護活動展開実習Ⅲ	2	1			
	精神保健学特論	1・2		2	
	国際看護学特論	1・2		2	
共 通 科 目	看護科学研究特論	1	2		8単位以上 （必修含む）
	看護政策論	1・2	2		
	看護管理学特論	1・2	2		
	看護コンサルテーション論	1・2		2	
	人間関係学特論	1・2		2	
	看護教育学特論	1・2		2	
	看護理論特論	1・2		2	
	看護倫理学特論	1・2		2	
	健康社会科学特論	1・2		2	
	英語論文作成概論	2		1	
	Intensive English Study	1		1	
特別 研究	原書講読演習	1	2		5単位（必須）
	課題研究	1～2	3		
計					61単位以上

II 看護学研究科看護学専攻 博士課程（後期）の修了要件

教育課程	専攻領域	授業科目	配当年次	単位数		修了要件
				必修	選択	
専 門 科 目	看護基礎科学	生命病態学特論	1		2	看護基礎科学及び看護専門科学の専攻領域のうちからいずれかを選択し、当該専攻領域に係る演習に関する科目（4単位）、当該専攻領域に係る特論に関する科目を1科目（2単位）以上及び当該専攻領域以外の専攻領域に係る特論に関する科目を1科目（2単位）以上
		健康増進科学特論	1		2	
		保健情報科学特論	1		2	
		精神保健学特論	1		2	
		放射線保健学特論	1		2	
		看護基礎科学演習	2		4	
	看護専門科学	生活支援看護学特論	1		2	
		看護管理学特論	1		2	
		生殖看護学特論	1		2	
		発達看護学特論	1		2	
		国際看護学特論	1		2	
		看護専門科学演習	2		4	
特別研究	特別研究	1～3	8			
計						16単位以上

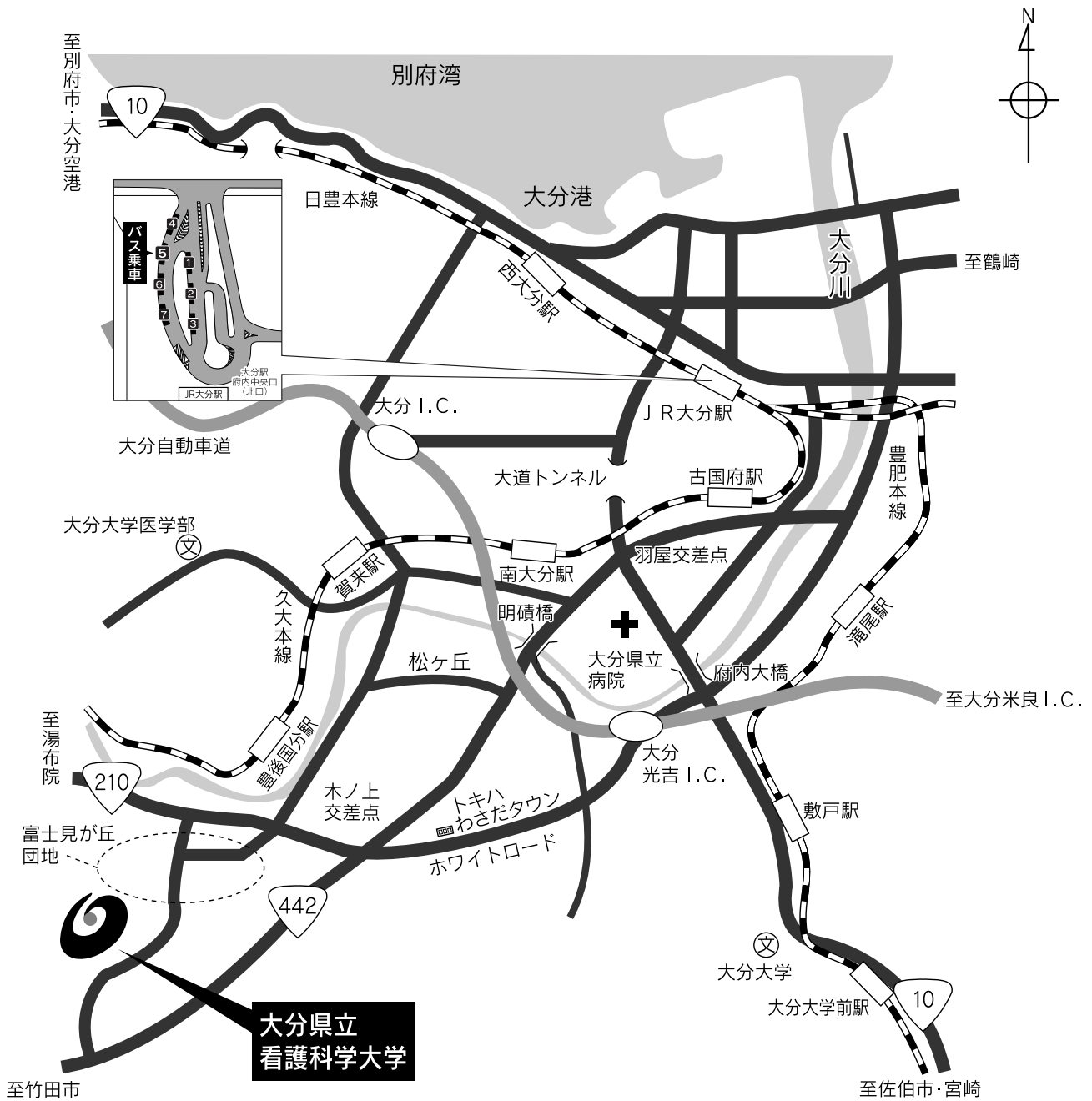
Ⅲ 看護学研究科健康科学専攻 博士課程（後期）の修了要件

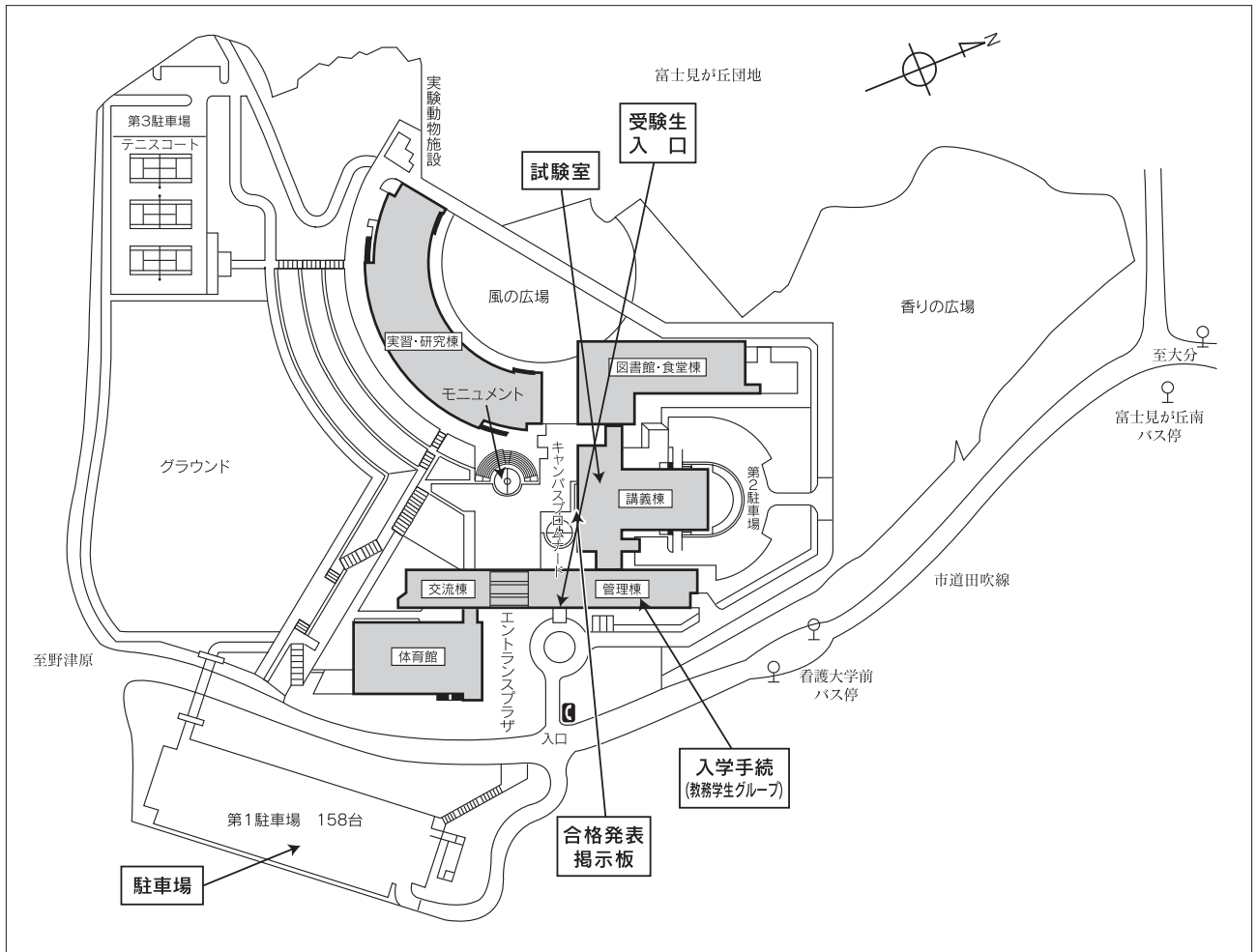
教育課程	専攻領域	授業科目	配当年次	単位数		修了要件
				必修	選択	
専門科目	健康生理学	健康生理学特論Ⅱ	1		2	専門科目は、専攻領域の特論1科目、演習1科目を含め8単位以上 ただし、専攻領域が健康情報科学あるいはメンタルヘルス学領域以外の場合、健康情報科学あるいはメンタルヘルス学領域から2単位以上
		健康栄養学特論Ⅱ	1		2	
		健康生理学特別演習	2		4	
	環境健康科学	環境健康科学特論Ⅱ	1		2	
		環境健康科学特別演習	2		4	
	健康運動科学	健康運動科学特論Ⅱ	1		2	
		健康運動科学特別演習	2		4	
	放射線健康科学	放射線健康科学特論Ⅱ	1		2	
		放射線健康科学特別演習	2		4	
	健康情報科学	健康情報科学特論Ⅱ	1		2	
		健康情報科学特別演習	2		4	
		健康統計学特論Ⅱ	1		2	
	メンタルヘルス学	メンタルヘルス学特論Ⅱ	1		2	
		メンタルヘルス学特別演習	2		4	
		対人援助特論Ⅱ	1		2	
特別研究	特別研究	1～3	8			
計						16単位以上

○ その他

1 試験会場略図

- 大分県立看護科学大学 (大分県大分市^{めぐすの}廻栖野2944-9)
 【交通案内】大分バス：「大分駅前」5番のりばより「富士見が丘 (K24、K30、K33、K35、K60、K61、K63、K96)」行に乗車(約30分)
 「看護大学前」下車、すぐ
 「富士見が丘南」下車、徒歩5分





2 交通アクセス

本学校への交通アクセスについては、本学Webサイトで確認してください。
<https://www.oita-nhs.ac.jp/> 「大学案内」 → 「交通アクセス」